

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	資源ごみ処理事業				事務事業コード	02803	
部 名	市民環境部	課 名	資源リサイクル課	係 名	施設管理係	部課コード	030400

1. 事業概要

総合計画コード	4221	年度 ~ H	年度	事業類型	<input type="radio"/> ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例		
めざす目的成果	施設の適正な維持管理及び運転管理を行うと共に計画的な修繕・更新により延命化が図られている。また、資源ごみの適正な分別収集により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られる。					
事業内容	あき缶資源化施設の維持管理及び運転管理委託業者の指導管理。 プラスチック類処理施設の維持管理及び運転管理委託業者の指導管理。 各処理施設の定期点検及び機器の状態把握。 資源ごみの分別収集運搬を行う。					
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 委託業者による施設の運転管理。 日報等により機器の稼働状況を確認し定期点検等を反映させる。 収集範囲を市内2地区に分け、受託会社2社により資源ごみを収集運搬する。					

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		資源ごみの分別収集運搬 あき缶資源化処理施設の維持管理及び運転管理委託業務の指導管理 プラスチック類処理施設の維持管理、運転管理委託業者の指導管理 定期点検の実施及び機器の状態の把握				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		335,229	330,969	333,628	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	62,486	62,884	71,932	
	[ホ]一般財源	272,743	268,085	261,696		
b 人件費		8,427	8,427	7,694		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		343,656	339,396	341,322		
投入労働量	常勤職員等(人工)		1.15 人	1.15 人	1.05 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	需用費	6,067千円				
	委託料	327,561千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 資源物処理量	t	2,600 ( 3,492 )	2,600 ( — )	2,600 ( — )	H 32 年度
	②		( )	( — )	( — )	H 年度
成 果	① プラスチック製容器包装バール品質評価(満点100%)	%	95.0 ( 93.6 )	95.0 ( — )	95.0 ( — )	H 32 年度
	② ペットボトル分別基準適合物品質評価(満点100%)	%	100 ( 100 )	100 ( — )	100 ( — )	H 32 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 廃棄物の処理における自区内処理の原則から、市内の家庭から排出される資源ごみを収集する義務がある。また、資源ごみの再資源化を推進し、循環型社会の形成に必要な事業である。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> プラスチック類処理施設、あき缶資源化施設とも順調に稼働した。資源物処理量及びペットボトル分別基準適合物品質評価は指標を達成したが、プラスチック製容器包装ベール品質目標指標を達成できなかったため、市民への分別の啓発に努める必要がある。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 施設運転状況及び稼働状況に気を配り、プラスチック製容器包装ベール等品質の向上に努めた。 参加と協働: 消防訓練を計画し、市民及び運転管理業者との協働で安全対策に努めた。 経営的な視点: 現行の施設管理経費を上回らないことを前提に効率化を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> プラスチックの処理に関して、残渣の量が増加傾向にあり、排出者に対し分別の徹底を促す啓発を行う必要がある。			

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期: H	年度)
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期: H	年度)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期: H	年度)
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大		(実施時期: H	年度)	
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)	
	<input type="checkbox"/> その他	(実施時期: H	年度)	
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	プラスチック類の選別において、残渣が増加傾向にあるため分別の啓発に努めプラスチック残渣の低減化を図る。			